

## 平成 24 年度 大学－J S T 意見交換会 J S T からお伝えしたこと

### J S T 理事長 中村道治

#### ■イノベーションに向けたファンディング

- ・大学の基礎研究の中から目利きによって成果を選び出し、J S T の戦略的創造研究推進事業で加速し、イノベーションに向けて産学連携までシームレスな繋がりを構築しているところです。
- ・基礎研究と産学連携を繋ぐ一つとして、C O I（Center of Innovation）プログラムを平成 25 年度新規事業として実施します。
- ・企業化に向けて、平成 24 年度補正予算で出資金と運営費交付金で 600 億円が、J S T に措置されます。これまでの委託開発を質・量的にスケールアップしていきます。

#### ■知的財産

- ・先進国だけでなく新興国においても、我々の特許をどう活用していくかなど、国際化について議論を深めていきたいと考えております。

#### ■研究開発活動におけるコンプライアンス

- ・研究開発活動における不正行為防止について、大学の皆様と一緒に推進していきたいと考えております。

### J S T 理事 小原満穂

#### ■復興促進プログラム

- ・予算要求で復興促進プログラムの新規採択予算が認められませんでした。一般会計から予算を確保し、継続して被災地を支援致します。

#### ■A－STEPとC O Iの関係

- ・A－STEPの新規課題については、今後策定されるC O Iプログラムのアジェンダないしはビジョンに連携して募集を行います。
- ・A－STEPはC O Iプログラムに対し2つの役割を担っています。一つは、A－STEPで採択した課題を将来的にC O Iプログラムに繋げることと、それとは逆方向でC O Iプログラムからスピニアウトした課題についてA－STEPで実用化を目指すことです。

#### ■出資金事業

- ・補正予算による出資金事業は、委託開発とほぼ同じスキームで、より使いやすい仕組みにしたいと考えています。委託開発より大規模な研究開発も可能になるので、ぜひ活用をご検討いただければと思います

#### ■地域事業

- ・J S T が果たせる役割を検討し、かつ文科省と相談しながら、可能な展開を考えていきます。大学の皆様からお知恵をいただきたく思います。

### ■新技術説明会

- ・新技術説明会を年間 65 回程度開催しています。マッチング率は、24%程度で、そのうちの 1/3 程度が企業との共同研究等に進んでいます。来年度も新技術説明会をご利用ください。
- ・昨年 9 月から同説明会の当日に主催大学と、1 時間程度の意見交換の場を設けています。ご要望・アドバイスをいただく場として、来年も継続していきます。

### ■知的財産相談

- ・知財に関するご相談については、ご依頼をいただければ、6 地域に配置している特許主任調査員が積極的に向かうような体制をとっておりますので、ご利用ください。
- ・係争へ対応することはできませんが、ご相談であれば知的財産戦略センターまでご連絡ください。

以上